

## 異なった種類のワクチンを接種する場合の間隔

予防接種で使うワクチンには、生ワクチンと不活化ワクチンがあり、異なった種類のワクチンを接種する場合には間隔を守ることが必要です。

異なった種類のワクチンを同時に接種する必要がある場合もあります。医師とよく相談してください。

なお、同じ種類のワクチンを複数回接種する場合には、それぞれ定められた間隔があるので、間違えないようにしてください。

### ◆27日以上おく

注射生ワクチン
BCG・MR・麻しん・風しん・水痘
おたふくかぜ など



注射生ワクチン
---------

### ◆制限なし

注射生ワクチン
BCG・MR・麻しん・風しん・水痘
おたふくかぜ など



経口生ワクチン
---------

不活化ワクチン
---------

### ◆制限なし

経口生ワクチン
ロタウイルス



注射生ワクチン
---------

経口生ワクチン
---------

不活化ワクチン
---------

### ◆制限なし

不活化ワクチン
ヒブ・小児用肺炎球菌・B型肝炎 四種混合・不活化ポリオ 日本脳炎・二種混合・子宮頸がん
A型肝炎・季節性インフルエンザ など



注射生ワクチン
---------

経口生ワクチン
---------

不活化ワクチン
---------

※同じ種類のワクチンを続けて接種する場合は、規定どおりの接種間隔で接種してください。